

楽器 雨音棒〈パロ・デ・ジュビア(スペイン語)〉 A0217

クスコ/ペルー

アンデスの玉手箱ーペルー南高地の祭り和生活

参照資料

図録『ラテンアメリカの音楽と楽器』p.89

演奏方法：

傾けると、音を出す。



PALO DE LLUVIA

振って鳴らす楽器のなかま。ひょうたん、籐製のかご、あるいは金属など容器上のものの中に石や植物の種などを入れたもの。考古品には土器製のものもある。また、棒にコイン状の薄い金属片を通したものなどがある。

關先生からのひとこと

雨音棒は、もともとアマゾン地域で使われていた楽器ですが、最近ラテンアメリカ各地の音楽で、さかんに使われるようになりました。中はサボテンのトゲの根のような突起が、いくつもとび出しています。傾けると、中に入っている植物の種や小石が反対側に落ち、途中の突起にぶつかって、音を出します。